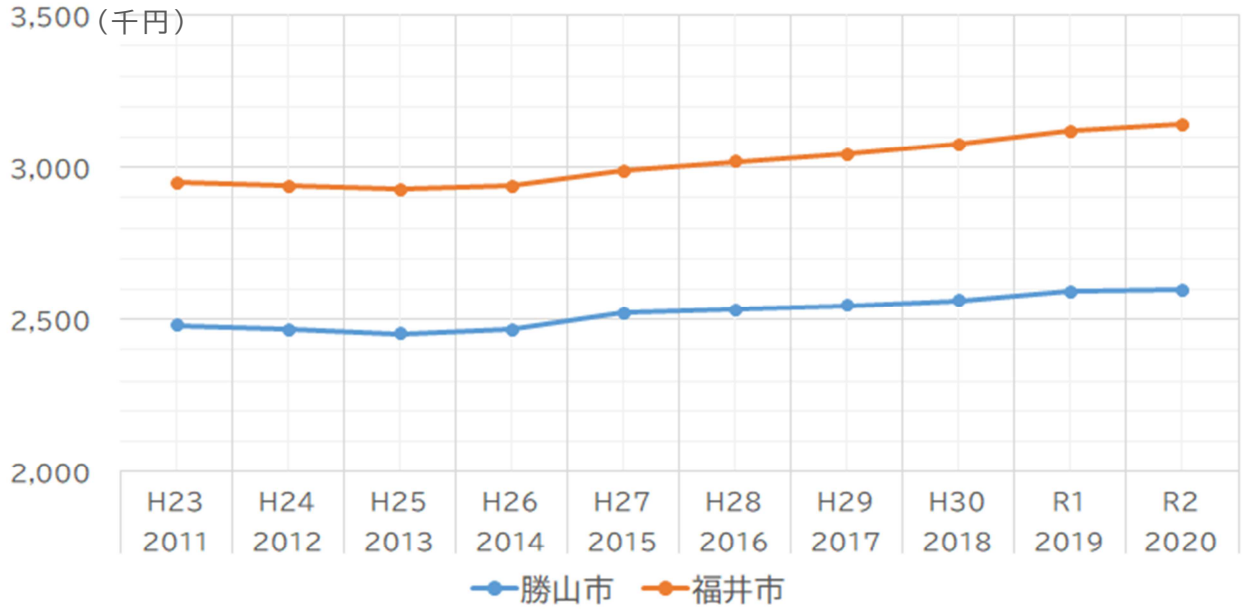
4 つの「守る」

産業・経済

1.産業・経済分野における現状

国内最大級の地質・古生物学博物館である「福井県立恐竜博物館」や市内全域が日本ジオパークに認定されている「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」、中世に日本最大規模の宗教都市として発展し、美しい苔が一面に広がる「国史跡白山平泉寺旧境内」、国近代化産業遺産に認定され近代勝山の織物業の歴史などを学び、体験もできる「はたや記念館ゆめおーれ勝山」、白山平泉寺旧境内の石畳道や旧勝山城下町に残る七里壁の石垣などが日本遺産に認定された「石の文化」、西日本最大級の規模を誇る「スキージャム勝山」など魅力的な観光資源を活用し、観光の産業化に取り組んでいます。また長尾山総合公園の Park-PFI※事業や道の駅「恐竜渓谷かつやま」周辺エリアの整備などといった観光資源の磨き上げにも取り組んでいます。

1 人当たりの総所得金額等の推移

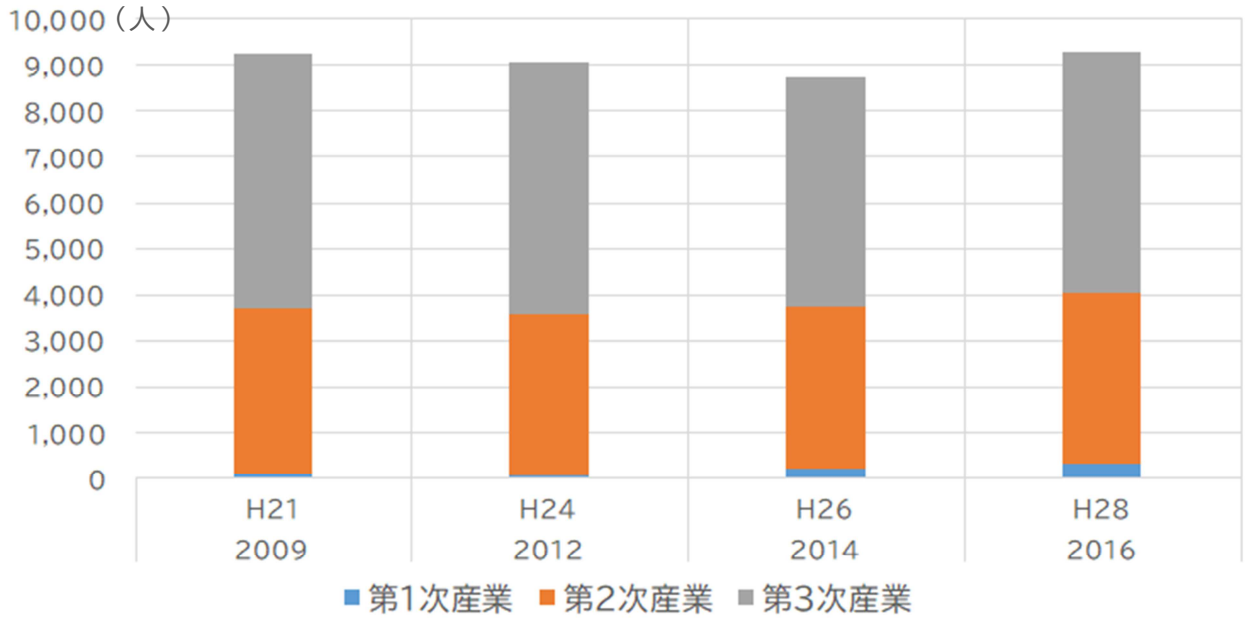


出展：総務省「市町村税課税状況等の調」から算出

人口減少・少子高齢化などによる労働生産人口減少の影響により、雇用の確保、事業承継が難しくなっていることから、市内の企業を誌面で紹介する「いんとろ」を制作し、中高生等に配布するなど PR の支援を行っています。

農林水産業においては、全般的に担い手不足となっており、農業では、新たな担い手の育成、担い手への支援、農地の集積・集約、農業用水路の更新や農道の舗装、鳥獣害の防止対策、農産物加工の支援などに取り組んでいます。また林業では、国・県の補助制度を活用し森林組合の経営基盤を強化するとともに、森林を適正に管理するため、森林境界を明確化し個人の森林管理を推進するほか、市有林、森林公園などを活動拠点として、市民に対して森林・林業に対する理解の醸成を推進しています。水産業では、勝山市産の鮎を「九頭竜川勝山あゆ」として商標登録を行いブランド化を進めています。

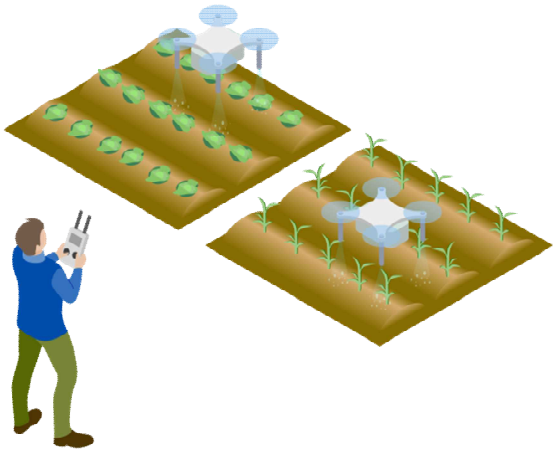
市内の従業員数の推移



出典： 総務省「経済センサス－基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」
注）第 1 次産業…農林水産業　　第 2 次産業…建設業、製造業
　　第 3 次産業…卸売・小売業、金融保険・不動産業、運輸・通信業、電気・ガス水道業、
　　サービス業、公務
　　なお、第 1～3 次産業の分類は慣例による分類

2.産業・経済分野における課題

1. 令和 6 年（2024）の北陸新幹線福井・敦賀開業、令和 8 年（2026）の中部縦貫自動車道県内全線開通など高速交通網の整備進展により、首都圏や中京、関西からの交通の便がよくなることから、企業や都市人材の誘致に取り組むとともに、観光振興にとって大きなチャンスが控えており、その効果を十分に地域経済に波及させる必要があります。
2. 人材不足に苦慮している商工業者に対し、市民への企業情報提供によるマッチングを進め雇用創出につなげるとともに、意欲ある商工業者に対する事業拡大への支援や創業への支援を行う必要があります。
3. 農業従事者数の減少や高齢化、後継者不足が年々深刻化しており、農地の荒廃や耕作放棄地が増加していることから、農地集積・集約化、農業用施設の長寿命化、鳥獣害防止対策の強化、6 次産業化※の推進、スマート農業※の導入等による担い手育成の支援に取り組む必要があります。
4. 所有者の高齢化や世代交代により、境界が不明確で管理されていない森林が多数存在していることから、個人所有の森林の境界を明確化し、意欲のある森林経営体に管理を集約、適正な管理を行うとともに、担い手の育成・確保に取り組む必要があります。
5. 「九頭竜川勝山あゆ」ブランドをさらに高めるため、全国に PR し、河川環境の保全等により鮎の安定的確保に取り組む必要があります。



産業・経済分野におけるまちづくりの指標

指標名	現状 （令和 2（2020）年度調査）	目標 （令和 7（2025）年度調査）
1 人当たりの総所得金額等	2,600 千円	2,730 千円

【設定理由】

1 人当たりの総所得額を増額することにより、勝山市より所得が高い周辺市町村から労働者の異動を促す。

指標名	現状 （平成 28（2016）年度調査）	目標 （令和 6（2024）年度調査）
市内の従業員数	9,260 人	9,260 人

【設定理由】

市内事業者の人材不足を解消するため、市内外から労働者を呼び寄せ雇用を創出する。

政策目標1

多くの観光客が訪れる豊かで活力あるまち

▼ 政策目標を実現するための施策

基本的な方向性 1

歴史文化に関する多種多様な文化財等の保存に取り組みつつ、勝山市を特徴づける歴史文化のストーリーをもとに、これを生かした観光プログラムを開発します。

施策 勝山の魅力（歴史・民俗・自然等）を感じる観光プログラムの開発

具体的な取組

①	歴史文化資源を活用した体験型ワークショップ、ツアーなどを実施
②	ジオパークや日本遺産などのストーリーを活用した観光プログラムを開発
③	歴史文化に関する多種多様な文化財や資料の調査・研究を実施
④	勝山の魅力（歴史・民俗・自然等）を市内外に発信

基本的な方向性 2

「通過型観光※」から「滞在型観光※」への転換を目指し、宿泊施設誘致による市全体の収容人数を増加し、あわせて体験型※・着地型※のプログラムを開発するなどして、観光客や宿泊客の増加に取り組みます。

施策　体験型・着地型観光プログラムの開発

具体的な取組

①	アウトドアでの宿泊など多様なニーズに対応できる宿泊施設を誘致
②	勝山ならではの観光素材に触れる・感じることができる体験型観光プログラムを開発
③	朝採り収穫体験やプロジェクションマッピング※などの朝、夜の時間帯を活用した体験型プログラムを開発

基本的な方向性 3

事業者の収入および雇用の安定化を図るため、季節によって大きく変動がある観光入込について、閑散期の誘客拡大に取り組みます。

施策　閑散期の誘客拡大

具体的な取組

①	リピーター獲得のため四季折々の多彩な風景を活用した季節別の体験型観光プログラムを開発
②	観光客の落ち込む時期に合わせ観光施設利用料割引キャンペーンなどを実施

基本的な方向性 4

北陸新幹線福井・敦賀開業など交通アクセス向上を見据え、関東圏からの誘客を促進するため、旅行会社への PR など観光営業の強化に取り組みます。

施策 観光営業の強化

具体的な取組

①	SNS等を活用し効率的・効果的に情報を発信
②	首都圏等を中心とした旅行会社との商談会に参加
③	ターゲットを絞った魅力的な観光プロモーション動画を作成

基本的な方向性 5

将来的なインバウンド※の促進を見据え、外国人向け体験コンテンツの充実に取り組むとともに、県や他市町と連携し海外での営業活動や観光プロモーションを実施します。

施策 インバウンドの推進

具体的な取組

①	外国人が魅力を感じる歴史文化のストーリーを生かした情報を発信
②	外国人観光客と地域住民が交流できる観光プログラムを開発
③	外国人観光客へのおもてなし力向上のためのセミナー等を開催
④	看板等の多言語化および主要観光地の Wi-Fi 環境を整備

重要業績評価指標（KPI）

（単位：%）

指標名	市内宿泊施設における宿泊客数の増加率（基準年度比）				
基準年度	目標期間				
R3	R4	R5	R6	R7	R8
実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
63,818 人	10.0	20.0	30.0	40.0	50.0

（単位：%）

指標名	閑散期（6 月、12 月、3 月）の観光入込客の増加率（基準年度比）				
基準年度	目標期間				
R3	R4	R5	R6	R7	R8
実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
293,700 人	3.0	6.0	9.0	12.0	15.0

（単位：%）

指標名	観光入込客の増加率（基準年度比）				
基準年度	目標期間				
R3	R4	R5	R6	R7	R8
実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
1,390,072 人	5.0	10.0	15.0	20.0	25.0

政策目標２

多様な働き方を選べるまち

▼ 政策目標を実現するための施策

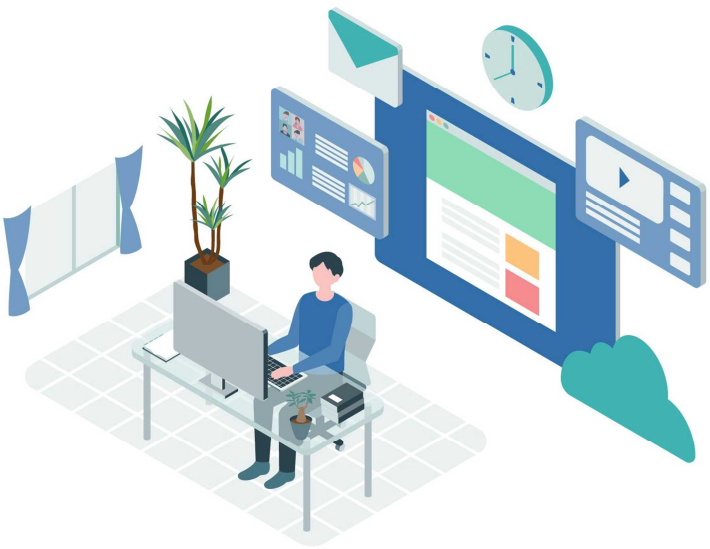
基本的な方向性１

北陸新幹線福井･敦賀開業、中部縦貫自動車道県内全線開通など高速交通網の整備進展を生かして、幅広い分野の企業誘致に取り組みます。

施策 幅広い業種の企業を誘致

具体的な取組

①	観光の振興に寄与する業種の進出を支援
②	データセンター※等の新しい業種を誘致
③	新たな産業団地の設置を検討
④	再生可能エネルギーをはじめとした環境保全に関連した企業等を誘致



基本的な方向性 2

アフターコロナやデジタル技術の進歩などによる新しい働き方の流れを捉え、住環境などの勝山市の魅力を広く PR するとともに、空き家等の有効活用も視野に入れ、都市部からのサテライトオフィスやワーケーションの誘致に取り組みます。

施策　サテライトオフィスなどを誘致

具体的な取組

①	企業振興助成金の要件を拡充
②	各種有識者で構成された地域経済振興会議による情報の共有
③	ワーケーション、コワーキングスペース※、サテライトオフィス等に活用できる拠点施設を整備

基本的な方向性 3

企業誘致等にあわせて、移住の促進、地元企業と連携した採用対策を強化し、U･Iターン者の増加に取り組みます。

施策　企業誘致と合わせた U･I ターン者の増

具体的な取組

①	U･Iターン者に対する経済的支援の実施
②	地元企業と連携したU･Iターン者の採用対策を強化
③	地域おこし協力隊※など関係人口の創出を起点とした移住を促進

基本的な方向性 4

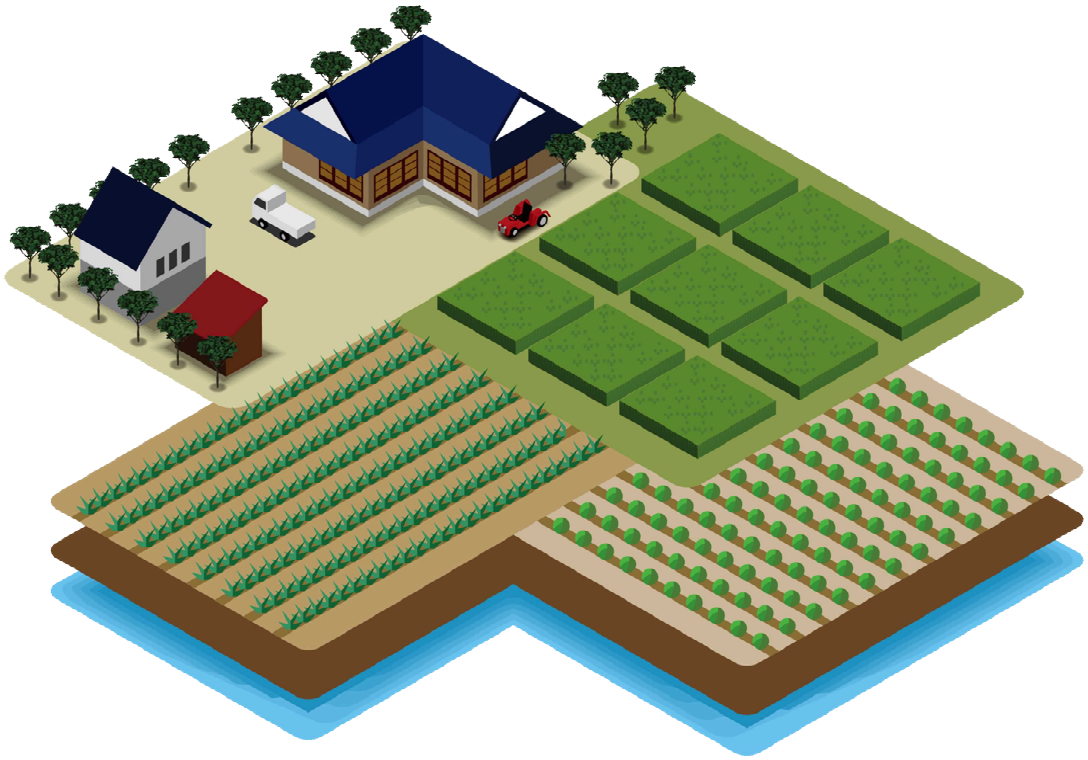
住宅リフォーム、住宅取得を支援し、U・I ターン者、子育て世帯への住環境を整えるとともに、U・Iターン者に対する支援を継続します。

施策 U・Iターン者の住まいや仕事探しに向けた住環境の支援

具体的な取組

① U・I ターン者、子育て世帯を対象とした住環境の整備を支援

② 多世帯近居・同居を推進するための住宅リフォーム、住宅取得を支援



重要業績評価指標（KPI）

指標名	既存公共施設を活用した民間企業の進出数				
基準年度	目標期間				
R3	R4	R5	R6	R7	R8
実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
0 件	目標年次までの期間に　3 件以上				

指標名	民間資本によるサテライトオフィス等の整備数				
基準年度	目標期間				
R3	R4	R5	R6	R7	R8
実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
0 件	目標年次までの期間に　1 件以上				

（単位：回）

指標名	市の補助制度を活用した U･I ターン者数（増加分）				
基準年度	目標期間				
R3	R4	R5	R6	R7	R8
実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
0	1	2	3	4	5

政策目標３

事業者の活力あふれるまち

▼ 政策目標を実現するための施策

基本的な方向性１

生産性や売上を向上させるため、デジタル技術を活用した取り組みを支援します。

施策 デジタル技術の活用を支援

具体的な取組

① 生産性や販路拡大による売上向上を目指す中小企業者等のデジタル技術の導入を支援

基本的な方向性 2

新規創業や既存事業の拡大に意欲を持って取り組む商工業者を支援します。

施策　意欲ある商工業者を支援

具体的な取組

①　まちなかでの空き店舗等を活用した出店を促進するため補助制度を拡充
②　起業に関するセミナーの開催および個別指導などの支援を拡充（再掲）
③　市の融資制度や企業振興助成金などにより事業拡大を目指す商工業者を支援

基本的な方向性 3

既存商業者の魅力ある店舗づくりを支援することにより、事業所数減少の抑制に取り組みます。

施策　既存商工業者への支援

具体的な取組

①　観光客向けの商品開発や魅力ある店舗づくりへを支援
②　勝山商工会議所等と連携し商工業者に対する支援体制を強化

基本的な方向性 4

市内企業と連携することで各企業のニーズを把握し、官民一体となって労働者の確保に取り組みます。

施策 市内企業と一体となった労働者確保対策の実施

具体的な取組

①	市内企業と定期的に意見交換を実施
②	市内企業合同による学生向け就職説明会を開催
③	市内企業に就職した人に対する補助制度を充実
④	市内企業情報の発信を強化
⑤	外国人労働者の雇用に向けた環境を整備
⑥	特定地域づくり事業協同組合※を創設

基本的な方向性 5

観光の産業化の中核の一つである飲食事業者の事業拡大･継続を支援します。

施策 飲食事業者のニーズに応じた支援の実施

具体的な取組

①	飲食事業者の事業拡大･継続に対する補助制度等の充実

重要業績評価指標（KPI）

（単位：人）

指標名	市の採用支援施策に参画した市内企業の採用者数（増加分）				
基準年度	目標期間				
R3	R4	R5	R6	R7	R8
実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
－	1	1	2	2	3

指標名	空き店舗を活用した創業者数（第二創業を含む）				
基準年度	目標期間				
R3	R4	R5	R6	R7	R8
実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
3 件	目標年次までの期間　毎年　3 件以上				

（単位：件）

指標名	補助制度を活用した商品開発件数				
基準年度	目標期間				
R3	R4	R5	R6	R7	R8
実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
－	目標年次までの期間　毎年　1 件以上				

政策目標 4

活力ある農林水産業が続くまち

▼ 政策目標を実現するための施策

基本的な方向性 1

道の駅農林産物販売所での販売支援、6次産業化の推進、スマート農業の導入などにより経営所得安定対策を推進し、農業の担い手、新規就農者の確保・育成に取り組みます。

施策 農業の担い手、新規就農者の確保・育成・支援

具体的な取組

①	農業団体や関係機関と連携し地域特産物の振興を促進
②	農業者の機械および施設の整備等を支援
③	中山間地域などの条件不利農地の営農の継続を支援
④	高収益作物の導入や作物の付加価値向上に対する取り組みを支援
⑤	新たな農業の担い手確保・育成を支援
⑥	米の消費拡大に向けて食育等を推進

基本的な方向性 2

効率的かつ安定的な農業経営に向けて農地の集積･集約化を促進します。

施策　担い手への農地の集積･集約化に向けた支援の充実

具体的な取組

①　農地の集積･集約化の促進に向けて農地中間管理機構の活用を PR
②　農業公社の事業強化を支援
③　農地中間管理機構に対し農地を貸し付けた地域および個人を支援
④　農業振興地域の区域外の農地集積を促進

基本的な方向性 3

農業生産活動の基盤となる農業用施設の長寿命化に取り組みます。

施策　農業用施設の長寿命化

具体的な取組

①　勝山大用水の長寿命化工事を実施
②　各地区管理となっている農業用施設の改修を実施

基本的な方向性 4

鳥獣害対策に関わる人材育成の支援や近隣市町との連携により、鳥獣害防止対策の強化に取り組みます。

施策 人材育成と広域的な取り組みによる鳥獣害対策の推進

具体的な取組

①	捕獲隊や集落のリーダーの人材育成を支援
②	近隣市町、県との連携による広域的な取り組みを実施

基本的な方向性 5

境界が不明確で管理されていない森林の境界調査を推進し、意欲のある経営体への集約を図り、適正な森林管理に取り組みます。

施策 意欲のある森林経営体への集約化の推進

具体的な取組

①	境界が不明確で管理されていない森林の境界調査を推進
②	意欲のある森林経営体へ森林管理の集約化を推進
③	林道管理団体等への保全支援、森林経営体への高性能機械の購入支援、木材の利用推進等を支援

基本的な方向性 6

森林環境譲与税を有効活用し、林業従事者の育成・担い手の確保および木材利用の促進に取り組みます。

施策　次世代の林業の担い手確保

具体的な取組

①　地域に根付いた次世代の林業従事者の育成を支援
②　森林・林業への理解醸成を深めるため森林と親しみやすい空間を確保
③　災害に強く良好な山村景観を次世代に残すための森林保全を支援

基本的な方向性 7

「九頭竜川勝山あゆ」ブランドをさらに高めるため、全国に PR するとともに、モニタリング調査、清掃活動等を実施し、河川環境を保全することで、鮎の安定的確保に取り組みます。

施策　鮎を中心とした水産振興の推進

具体的な取組

①　「九頭竜川勝山あゆ」のブランド力向上に向けた取り組みを支援
②　鮎の安定的確保に向けた取り組みを支援

重要業績評価指標（KPI）

（単位：組織）

指標名	農業法人の数				
基準年度	目標期間				
R3	R4	R5	R6	R7	R8
実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
19	20	21	22	23	24

（単位：ha）

指標名	認定農業者及び集落営農組織などの担い手への農地利用集積面積				
基準年度	目標期間				
R3	R4	R5	R6	R7	R8
実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
－	1,283	1,290	1,297	1,304	1,310

指標名	多面的機能支払い交付金の取り組み集落数				
基準年度	目標期間				
R3	R4	R5	R6	R7	R8
実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
66 件	目標年次までの期間に 71 件以上				

指標名	鳥獣害による農作物の被害面積の抑制（基準年度の被害面積以内を維持）				
基準年度	目標期間				
R3	R4	R5	R6	R7	R8
実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
3.5ha	目標年次の期間中 毎年 3.5ha 以内を維持				

指標名	森林経営体への集約化率				
基準年度	目標期間				
R3	R4	R5	R6	R7	R8
実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
10.0%	目標年次までの期間に 12.0%以上				

指標名	林業従事者数				
基準年度	目標期間				
R3	R4	R5	R6	R7	R8
実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
63 人	目標年次までの期間に 66 人以上				

（単位：千円）

指標名	遊漁券の販売額				
基準年度	目標期間				
R3	R4	R5	R6	R7	R8
実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
14,457	14,601	14,747	14,894	15,042	15,192